



THE JAPANESE SCHOOL in LONDON

ロンドン日本人学校だより 12

学校教育目標

自ら学び、心豊かにたくましく
国際社会を生きぬく児童生徒の育成
合い言葉：自立・貢献

2020(令和2)年

月1日発行 ロンドン日本人学校
令和2年度 第6号

「あいさつ」考

校長 石山 秀樹

私は毎朝、そして夕方、登下校する児童生徒や保護者の皆様、行き交う地域の方々とあいさつを交わしています。今はマスクをしていて声が出づらいますが、児童生徒の元気な「おはようございます！」が聞けると、とても良い気分になります。毎日のあいさつはその人の生活習慣そのものであり、一人一人の個性やその日の調子がはっきりと表れます。私のあいさつのポイントは4つ…「自分から」「目線を合わせる」「伝わる声」「にこやか」です。今、本校の講堂に新調された掲示板に掲示されている児童会の目標も、「自分から元気にあいさつをしよう！」でした。私自身は4つ目のポイントである「にこやか」が苦手で、自然に笑顔であいさつができる人を見ると、とても素敵に感じ、真似したくなります。

あいさつはコミュニケーションの第一歩です。ヒトは、人と人との関係性(=社会)の中でしか生きられない弱い生き物であり、だからこそ、敵意の無いことを示し、関係を良好に保つためのあいさつ・コミュニケーションは、世界中のどの文化でも重視されてきました。そして、私たちが毎日を過ごす学校は、「社会に出る準備をする場所」です。やがて飛び込んでいく社会で活躍するその時に向け、コミュニケーションの力につながる「あいさつ」は、児童生徒の全員に身に付けてほしいと考えています。

先ほどの4つのポイントの中で、私が最も重視しているのは「自分から」です。「(あいさつを)してくれたら自分もする」「無視されたらいやだ」とあいさつをためらう人もいますが、それは、相手に自分の行動を委ねることです。あいさつに限らず、あることについて「誰かが何とかしてくれないかな」と思っているうちは、何も変わりません。自分が、「必要だ」「こうあってほしい」と思ったら、自分から一歩踏み出し、行動を起こす。それは、「自立」への一歩でもあると考えます。

この冬、年明けには多くの「受験生」が、自らの進路選択に向き合います。ロンドン日本人学校で培ったコミュニケーションをはじめとする学びを力として、勇気をもって選択に臨んでほしいと願っています。

積雪等緊急時の学校対応について

冬季は、積雪等のために臨時休校や授業開始時刻を変更する事態が想定されます。その場合、以下のように連絡いたします。御確認をお願いします。学校の公式ブログやGoogle Classroomのストリームでもお伝えします。

1 児童生徒の全家庭へ

午前6:00に学校から緊急一斉メールにて連絡します。返信は不要です。

2 通学バスを利用している児童生徒の家庭へ

学校から始発バス停連絡係に電話で連絡します。始発バス停連絡係は、バス緊急連絡網で連絡をお願いします。

※通学バス利用の御家庭には、緊急一斉メールとバス緊急連絡網の2つの方法で連絡が入ります。お手数をおかけしますが、双方に御対応ください。

※メール及び電話連絡がない場合は、平常通りです。登下校の安全には十分御注意ください。

令和3(2021)年度 主要年間行事予定

- ・ 1学期転入学説明会 4月8日(木)
- ・ 入学式 1学期始業式 4月13日(火)
- ・ 授業参観, 懇談会
4月22日(木)・23日(金)・26日(月)
- ・ 一日自由参観 5月28日(金)
- ・ 創立記念集会 6月14日(月)
- ・ 運動会 7月10日(土)
- ・ 1学期終業式 7月20日(火)
- ・ 2学期始業式 8月25日(水)
- ・ 写生大会 8月27日(金)
- ・ 文化祭 保護者公開日 9月25日(土)
- ・ 日曜参観日 10月24日(日)
- ・ 2学期終業式 12月23日(木)
- ・ 3学期始業式 1月6日(木)
- ・ 卒業式 3月11日(金)
- ・ 修了式 3月15日(火)

NRT 学力検査について

本校では毎年、小学部 1 年生を除く全ての学年で、日本の教研式標準学力検査（NRT）を行っています。これは、児童生徒一人一人が自分自身の学力の状況をつかみ、これからの学力向上に役立てられるように、また、教師が学習上の子供の特性を把握し、併せて指導力向上につなげるために実施しています。例年、前年度までに学んだ内容について、4 月に検査を実施してまいりましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対応のため、夏休み明けの 8 月に実施いたしました。

個人の結果につきましては、2 学期の終業式の日には学校から子供たち一人一人にお渡しします。また、各学年の状況、学年や教科としての課題や今後の取組等につきましては、3 学期にお伝えする予定です。

全体の傾向としては、表に示したとおり、各学年・各教科ともに優れた結果を挙げています。ただし、本校では転出入が大変多く、1 年間で 3~4 割の児童生徒が入れ替わること、平均値の母数となる児童生徒数は比較的小さいこと、あくまでも今年度 8 月時点での状況であることには注意が必要です。

結果の中には「観点別集計」という項目があり、各教科別に設定された観点でどの程度の学力があったかが示されます。学校だより 10 月号「AI 時代の進路を拓く『学力』とは（その 2）」の中で、私は、子供たちが活躍する、変化の激しい将来においても必要とされるであろう「学力」を、「考え、判断し、表現する力」、その土台となる「文章の力—読解力」とであると論じました。NRT 学力検査の国語には「書く能力」「読む能力」という観点があります。これは国語にのみ示されている観点ですが、文章を正確に読み取り、目的に応じて正しく表現する力は、当然に他教科・分野にも大きく関わりがあります。これらの結果は表に示したとおり、概ね大きく平均を超えている状況であることが分かりました。読み、書きの基礎が十分にできていれば、その土台の上に大きく、「考え、判断し、表現する力」等の様々な学力が伸びる可能性が出てきます。

学校では引き続き、子供たちの学習上の特性や各学習の習熟等の状況をつかみ、力を引き出す指導の実現に向け改善を進めてまいります。



表 1 小学部偏差値平均 (全国平均 = 50)

	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6
国語	58.0	55.2	60.2	56.0	59.6
算数	57.8	54.1	59.4	56.9	62.3

表 2 中学部偏差値平均 (全国平均 = 50)

	中 1	中 2	中 3
国語	61.5	58.3	57.6
社会	59.6	56.1	57.6
数学	60.7	59.3	61.9
理科	56.9	53.6	53.0
英語		68.4	66.6

表 3 学年別「読み・書き」指数 (全国平均 = 100)

	書く能力	読む能力
小 2	116	135
小 3	106	128
小 4	130	152
小 5	126	116
小 6	127	135
中 1	136	138
中 2	123	137
中 3	130	137